

# LPO

レッスン プラス ワン

Apr. 1999

1

LPO編集室：〒174-0063 東京都板橋区前野町3-43-7 楽譜専門部 (株)松沢書店内 TEL：03-5970-5917

## ピアノひけるよ！

橋本晃一

私の長女が幼かった頃、近所のピアノ教室に通い始めて間もなく、こんなことがありました。「おとうさん、ピアノひいてあげようか」そう言つて、メロディだけの《10人のインディアン》を得意そうに弾いてくれたのです。

「このきよく、しつてるからすきなよ。でも、《れんしゅうきよく》はきらい。しつてるきよくだけ、おしえてくれればいいのに……」

それから10年あまり、私はずっとそのことを考えてきました。そして長女が高校生になった現在、「しつてるきよくで、どんどん ひける」ピアノ教本を作りました。(ピアノひけるよ！前書より)

昨年の暮れに出版した幼児向き導入教本「ピアノひけるよ！」ジュニア①②③のコンセプトは、最初から知っている曲が弾けるということですが、それはとても難しいテーマでした。

幼児がはじめてピアノに向かうのですから、「ドレドレ……」とか、「ドシドシ……」など、せいぜい2音か3音程度からのスタートとなるわけですが、しかもよく知っている曲などは、ほとんどないといつてもよいくらいです。逆に、知ってる曲だからといって、はじめてからたくさん指を使うことはできません。

できるだけ知っている曲で、無理のないカリキュラムを組むという難題を念頭において、私はこの10年間に、「やつぱりピアノがすき！」「やつぱりすき！ピアノ教本」「おとなのためのピアノ教本」「シニア・ピアノ教本」などを出版しました。これらは、それぞれ定評を得ていますが、結果として、すべて「ピアノひけるよ！」を作るためのテスト・ケースだったといつて

も過言ではありません。

そうして蓄積していったノウハウの集大成が、「ピアノひけるよ！」ジュニアと、引き続き出版される予定のシニア・シリーズなのです。

このテキストをすでに使用して下さった先生方からの、反響の一部をご紹介します。

「知っている曲が多かったようで、渡した時にうれしそうだった」

「イラストがきれいで可愛らしく、曲の内容との関連性があるのでイメージがつかみやすい」

「楽譜に歌詞が入っているので歌詞唱がしやすい」「先生用の伴奏が弾きやすく、ハーモニーもきれい」

「宿題に出さなくても、自分で次の曲を練習してきた」

「テキストの中から、はじめての発表会で弾く曲を選ぶ」としたら、いきなり3曲弾きたいと言われた」

この教本によって、「ピアノひけるよ！」という可愛らしい得意顔を見ることができるようになったお父さんやお母さんが、一人でも多くなつてくれることを願つてやみません。(再び、ピアノひけるよ！前書より)



●プロフィール

東京芸術大学音楽学部作曲科卒。卒業後、スタジオ・レコーディング、楽譜出版等の作・編曲に携わりながら、その体験で得たポピュラー音楽のエッセンスをピアノ教育に生かすべく、教本・曲集を執筆し、現在に至る。

●著書

「おとなのためのピアノ教本①②③」「発表会ピアノ変奏曲上・下巻」「やつぱりすき！ピアノ教本①②③④」（いずれもドレミ楽譜出版社）  
他著書多数

# ピアノも先生も、大好き！ という生徒を、 ジックリ育てるレッスンを！ (全2回)

新井 千音美

皆さん、こんにちは！ お元気ですか？ 習いに来る生徒がたくさんいて、大変お忙しい先生もいらつしやるという話も聞きますが……。

でも、ほとんどの先生方は、最近生徒数が減ってきて悩んでいることと思います。いかがでしょうか？  
ピアノ教室の現場では『最近では、ピアノ教室に通ってくる生徒の数は以前と天して変わらないのですが、すぐやめてしまふ生徒が多く、弱っている先生方が多い』とのことですよ。

『何とか、そういう先生方の悩みを解決してあげられるような方法や、元気つけてあげられる話をして頂けませんか？』と頼まれました。

私は、そういう先生方に『元気を出して、ガンバッテ！ こんな方法もありますよ』と、エールを送りたい気持ちで一杯です。

〔参考までに、私がレッスンの時いつも心がけていることをお話ししますので、『あらいいわね。そのハナシ！ イタダキ！』という話の内容「生徒への接し方や指導の要点」がありましたら、早速レッスンに取り入れてみて下さい。』  
☆印は、指導の要点

## レッスンは心理作戦！

### ① レッスンにきた時に

①『こんにちは……』と生徒が入ってきたら『こんにちは……』と答えながら生徒の声の調子や顔色をよく観察しよう！

声に元気がなかったり、顔色が悪かったら『宿題をやったのかな？』とか、『からだの調子が悪いのかな？』などと推測してから、レッスンを始めましょう。

声の調子や顔色で、生徒の心や体の状態を判断してから、レッスンを始める習慣をつけていると、特に『ここが悪いの？』

## 生徒の心の動きを知って、よいレッスンを！

元気がないようね……』などと聞かなくとも、すぐ「生徒のその日の調子」がわかるようになります。

☆体調の悪い子には難しい説明はあたまわし。優しく分かりやすいレッスンを。

### ② レッスンの前後には、必ず

#### 挨拶を

② どんなに親しい生徒でも親子でも、必ず『お願いします』『ありがとうございます』と挨拶をさせよう。

③ 宿題の処理と、与え方の工夫

### ③ 宿題の処理と、与え方の工夫

挨拶は、『これから、勉強よ』という“気持ちのケジメ”を付けさせるのにとっても有効です。(私が孫を教えた時、その効果に驚いたくらいです) 挨拶をきちつとさせることで、先生の言うことを聞いて、しっかりと勉強しますから、指導の効果も上がります。

☆ケジメをつけ、気持ちを入れてレッスンを受けさせるためにも、必ず挨拶を。

### ④ 宿題をやっても叱らないで。

宿題をやったことなかったら叱らないで、先生といつしよに宿題をやらせませう。

『ほら！ こんなに上手に音符が書けるじゃない！』

『〇〇ちゃんって、えらいね』とか、『宿題のところ、やってみよう。右手だけ3回ね、弾いてみて……』

えらい、弾けたあー、こんどは、左手も3回だよ……、うまいぞ。今度は、両手で3回練習して書いてあるから、両手もガンバロー、ゆつくりね。……上手に弾けたじゃない。〇〇ちゃんは、ウーンとピアノが上手なんだネ！』などと教え、『宿題を忘れないで、しっかりと勉強すると、上手になるんだな』という気持ち育てます。

また半分イヤイヤながらもやっていた子には、一言でもよいからほめ言葉を、励ましの言葉をかけてやるようにします。

この対応の仕方が『宿題をやってくる生徒をつくる基』になり、レッスンに来るのを嫌がらない生徒を作り、長続きする生徒を育てる指導になります。

☆必ず宿題を見てやる。どんなに忙しくても見てやる。○をつけ、×はつけない。

☆宿題をやってきたことを褒める。良い所を見つけて、褒めてやる。

☆宿題をやったことなくても、軽く叱る程度に。

☆宿題の内容を、生徒に分かるように書いてやる。

### ④ レッスンには「明るく・楽しく・分かりやすく」が基本

④ 生徒の能力に合わせ、じっくり腰をすえて

生徒が、のつてこないようなら、のつてくるように考えます。『この教材のどこが分からないのか？ 難しくて弾けないのか？』を見つけて教え方の工夫をします。

弾けない時は、1小節ずつとか2小節ずつに区切ってひかせてみるのも良いと思います。弾いたら、『エラーゾ！ 弾けたじゃない！』と褒めます。

大袈裟に褒めても褒めすぎということはありません。褒められるのが嫌な子はいないのですから……。『反抗期の時は、褒め過ぎに注意』

褒められるから、弾く気になる。弾く気になってレッスンを受けるから上達するし、先生も楽しくなり、教室の雰囲気もグッと明るくなります。『褒められる』楽しい』

☆難しいようだったら、弾く目標？ を高く設定し、細分化する。

☆焦らないでジックリ腰を落ち着けて。

### ⑤ 宿題の与え方の工夫（量の調節）

『どんな宿題を、どのぐらい与えたらよいか？』はレッスンの基本だ』という有名な指導者もいるくらい大切なことです。『次のレッスンの方向付けになるから……』

#### 【実例】

『ここまではやってこられるかな？』と言って、絶対無理のない範囲の宿題を出す。『（で示す。）』もしかしたら、ここまでできるといいな？』と言って、『付けてやり、』でも、ウーンと頑張ったところまで弾けるかも？』と、顔色を見ながら、うすーく『』を付け、『できなかったら、消しゴムで消しておいてもいいよ！』と融通性を持たせた宿題の出し方をします。

いいよ！』と融通性を持たせた宿題の出し方をします。

このような『段階的宿題の与え方』は、最低の場合でも褒めてやれるから、生徒の精神的な負担にならないし、最も薄くつけた『』のところまで弾いてきた生徒をメチャメチャに褒めることもできるので、先生も楽しくなる。『人は誰でも褒められると嬉しくなり、また褒められようとするもの』という心理をついた指導法と言えるでしょう。

☆生徒が家で練習してこられる量を考えて与える。

☆今日のレッスンで定着しなかったテクニック（指使いや、和音の弾き方など）を定着させるための練習方法（家でどのような練習を、どのぐらい）を教え、よく理解させて与える（必要なら、教則本の余白やノートに細かく書いてやる）。

このシリーズは全2回となっております。今回は『教材の選び方』『親の協力』についてお届けします。乞うご期待！



LP O 編集室では、ピアノの先生のお便り大募集！ 小紙の感想、日々レッスンで感じていること、あの先生にこういうことが聞きたい！ など、どしどしお寄せ下さい！ お待ちしています♡

《宛先》 〒114-0033

東京都板橋区前野町三・四三二七

楽譜専門 松沢書店内 LP O 編集室

**ちよつと一息**  
**だんご兄弟大冒険の巻**  
☆この曲を作詞した佐藤雅彦さんはCMプランナー「ドンタコ」他）といふことです。CMは短時間でより簡潔に商品名、その特徴を伝えることが大事なポイントですが、この曲にはどういった特徴が詰まっているのでしょうか。  
①覚えやすい歌詞＝くりかえしのことば（だんご、だんご）②リズムも素朴な2拍子で早め＝タンゴ③マイナー調＝かつて「でもち」を受けた曲「黒ね」のタンゴや「およげたいやきん」などは、すべてマイナー調、単純なだんごのイラストなどが特徴といえます。この曲の作り方はまさにCMを作る手法そのもので、どうすれば受け入れられるかを熟知した人の傑作です。  
☆この曲が母親にも受けているのはなぜでしょうか。今、テレビでは家族をテーマにした番組（『あわせ家族計画』など）が受けているように、家族は「マイナー」といふ世の中の流れがあります。この曲でも『こんなつまれてくるときもねがいはいそつておなじへん』といふ歌詞からは家族の礼讃、「いげめのことばでんか」といふ歌詞からは、些細なことでケンカする兄弟への憧れが、母親にも受ける理由でしょう。

### ◎新井千音美

#### プロフィール



#### ●経歴

東京音楽学校 現東京芸術大学 専科に入学、ピアノ科終了後、武蔵野音楽大学で作曲を学ぶ。

#### ●著書

『みんなのおけいこ①②③』、書籍『落ちこぼれをなくす楽しいピアノ・レッスン』、『宿題をやってくる生徒に育てるピアノ・レッスン』（いずれも音楽之友社）他多数。

#### ●所属

ボコの会主宰・全日本児童音楽協会理事長 他

# 4月の新刊

●学習研究社

田丸信明 編

## こどものバイエル①～③



現代の幼い子どもたちのためにこれまで『ぴあのどリーむ』『おながくドリル』等のシリーズを通じて書いてきた筆者の考えを、全て盛り込んだ全く新しいバイエル。田丸先生ならではの細やかな配慮の行き届いた、まさに“バイエルが現代によみがえる”全6巻。(④～⑥巻は9月発売予定。)

そしてもう一つ大きな魅力は、くもとようこ氏への120点にも及ぶ美しいイラスト。練習曲の数々がストーリー仕立てのイラストで繋かれ、想像力を豊かに育みながら少しずつ楽しくピアノが上達していきます。

曲集としては『ピアノの森』との併用をぜひお勧めします。

(①～③巻 各1,000円+税、4/12発売)

●音楽之友社

大崎妙子 著

0歳からの音楽絵本

## みるきいらんど ステップ1 (CD付)



0歳の赤ちゃんから「見る・聴く・触れる」この3つの感覚を刺激しながら、自然に音楽との出会いをさせるレッスン・プログラムです。体験音楽の

プログラムによって、右脳の成長するこの時期をねらい、赤ちゃんだからこそ持つ能力を十分に引き伸ばすことができます。

紙芝居、工作用帽子、音符カード(全てカラー印刷)、CD(絵に合わせた歌とピアノ伴奏、うさぎの「みるきい」と「くつきい」の可愛いナレーション入りピアノ演奏等19曲収録)で構成。絵や工作用帽子は1枚1枚切り離して使えます。

(定価:1,700円+税、4月上旬発売)

●ドレミ楽譜出版社 森本琢郎・池田恭子 編

バイエル程度で弾ける

## やさしい演奏会ピアノ曲集



選曲の目安として、目次にグレードを表示しました。演奏会だけでなく、日頃の併用曲集として、子どもから大人まで十分に使用できます。

また、<バイエル1～14番程度>の曲は、先生との連弾で、バリエーション形式になっていますので、演奏会でも十分に『聴かせる』ことができます。一定の演奏時間を保つことができ、楽しめる曲をセレクト。

(定価:1,400円+税、4月中旬発売)

●ヤマハミュージックメディア 原田敦子 著

楽中力を育てる

## ピアノファーストレッスンコース②

好評“ピアノ基礎テクニックシリーズ”の続刊。この本では、著者が日頃から提唱している「考えてから弾く」事をさらに押し進め、「意識を集中させ、思い出して弾いてみる」ことを8小節のピアノ譜を使って学習します。

全24曲のタイトルにはすべて日常のあいさつ言葉、または花の名前が付き、そのタイトルに沿ったイラストも満載。そのタイトルやイラストを見ながらのレッスンでなら、楽しい会話ははずみず。

また、各ページにはリズム・ソルフェージュや移調奏の課題もあり、様々な角度から子どもの能力を刺激していく1冊です。

(定価:1,300円+税、3月下旬発売予定)

●春秋社

岩崎淑 著

## アンサンブルのよろこび

日本では珍しい『伴奏ピアニスト』が、シユタルケルやトルトゥリエなど名演奏家との共演の舞台裏を公開。アンサンブルならではの面白さと苦心をうかがわせます。また、ジュリアード音楽院への留学や、チャイコフスキー・コンクールなど数々のコンクールへの挑戦、結核の闘病など波瀾万丈の半生も圧巻。

(定価:2,000円+税、4月下旬発売)

●東音企画 ジェン/リッ / ローバ スティン 共著

バスタイン

## レッスン・ダイアリー

先生と生徒のためのバスタイン先生オリジナルのレッスンノート。

五線譜鍵盤図や楽典、月謝受領欄もついている、レッスンには欠かせないノートです。

(定価:800円+税、発売中)



●全音楽譜出版社 D.アウグスタイン・D.カフ 作曲

田村智子 訳・編曲

曲の構成を理解する問題付きピアノ小曲集

## ピアニスブラッシュ! ①、②

中高生や大人の初級・中級者が大いに楽しめる、色彩とリズム感溢れるピアノ小曲集。大人のピアノ愛好者が増えつつある今、『もっと幅広い音域で色彩感とリズム感溢れる曲を弾きたい!』という要望に応えて作られました。初級のテクニックで鍵盤を縦横に使い、響きに幼稚さがなく、幅広い年齢の方のための弾き映えのする曲集です。また、曲を深く読み取るための『問題つき』というのも興味深いところ。

レッスン、発表会、コンサートのレパートリーに、また大人のピアノとしてぜひ!!

(①-1,300円+税、②-1,200円+税、4/20発売)

●カワイ出版

カワイ出版 編

やさしく弾ける

## アニメでいこう④

4月から始まる新番組アニメ主題歌を中心にバイエル後半程度で弾けるよう編曲しました。小学生くらいの好きな曲を弾いてみたいと思っている生徒さんのレッスンや練習に組み込むのもよいでしょう。収録曲:だんご3兄弟、PIECE OF LOVE(神風怪盗ジャンヌ)他全9曲。

(定価:850円+税、4月上旬発売)

